

に対する効果については、何ともいえない。

2) E_2 100ng~400ng/ml 投与で急激な Suppression と受けるのは臨床的に……。

答: E_2 添加による Dose-Respon 関係をみたもので容量増加により卵膜の Progesterone 生成率は低下を示した。

165. ヒト胎盤の steroid receptor とその意義

(京都府医大)

渡辺 喜信, 玉舎 輝彦, 山田 俊夫
石原 貞尚, 岡田 弘二

目的: steroid の産生部位に於ける局所作用が卵巣では明らかにされている。従つて胎盤においてもその作用部位である receptor の存在が考えられるのでヒト胎盤で steroid receptor I estrogen (ER) progesterone (PR) androgen (AR) glucocorticoid (GR) I の特徴を明らかにし妊娠経過とともに receptor 濃度の変動を検討し意義づけをした。

方法: 中絶・分娩時の胎盤を homogenize し cytosol を調製し steroid receptor の特徴を steroid 特異性・沈降定数・解離定数の面より検討し妊娠経過とともに receptor 濃度を測定した。

結果: ER の type I GR は妊娠の進行とともに増加, 中期で最大となり後期より満期には減少する。一方 ER の type II は終了変動せず PR の存在は否定的であり AR の変動も少ない。このことから estrogen と glucocorticoid が深く胎盤機能にかかわっていることが考えられた。

独創点: ヒト胎盤で各種 steroid receptor の存在を明らかにし, さらに receptor の面より steroid の胎盤へのかかわりあいの可能性を明らかにした。

質問 (関西医大) 榎木 勇

1) estrogen と glucocorticoid がどのように胎盤機能に関与していると考えておられるのか。

2) ER (Type II) については如何考えられるか。

回答 (京都府医大) 渡辺 喜信

胎盤に於けるステロイド作用については, エストロゲンは胎盤の growth, グルココルチコイドは, 分娩発来機構 HSAP, エストロゲン合成に関わると考えられています。

166. ヒト妊娠脱落膜での steroid receptor 濃度と PRL 分泌能との関係

(京都府医大)

荒堀 憲二, 玉舎 輝彦, 和田 圭介
藤本 次良, 岡田 弘二

ヒト分泌期内膜間質細胞は, estrogen の作用下で progesterone により脱落膜細胞となり, 妊娠とともに, さらに脱落膜として増殖する。またこの分泌期内膜や脱落膜においては主に progesterone の作用により PRL が分泌されることも知られている。そこで Steroid receptor [estrogen (ER), Progesterone (PR), Androgen (AR)] の面から脱落膜の増殖及び分泌期内膜間質細胞や脱落膜での Steroid の効果を知るべく検討した。

分泌期内膜から分離した間質細胞や, 妊娠初期の種々の時期の人工妊娠中絶術に採取した脱落膜を処理し, cytosol 分画, 及び核分画での各種 Steroid receptor の濃度を測定しその特徴を明らかにするとともに, 各々の cytosol 分画での PRL 濃度を測定し, 相互の関係を検討した。

この結果, ヒト分泌期間質細胞と脱落膜には, ER type I, ER type II, PR, AR, の各種の Steroid receptor が存在し, 妊娠初期においては妊娠の進行とともに ER type I 結合部位は各々の分画で増加を示し, また PR も全細胞レベルで増加傾向を示した。一方 cytosol 中の PRL 濃度も妊娠の進行とともに増加傾向を示した。この妊娠経過に伴う脱落膜での PRL 分泌能の変動と, ER type I 結合部位や PR 濃度の変動の類似から PRL 分泌と estrogen や propesterone 作用との関係が推測された。

質問 (新潟大) 佐藤 芳昭

1) Decidua での receptor について, 着床部での receptor とその他の部分の receptor 濃度に違いがあるか。

2) Pseudopregnancy therapy について, その Decidua 様組織についての receptor はどうか。

回答 (京都府医大) 荒堀 憲二

1) Decidua の部位による receptor 量の変動があるか?

Decidua parietalis に関して測定していますが, Decidua Basalis との差異については, 不明です。

2) pseudopregnancy therapy をした場合の receptor 量の変動は?

decidualization が進めば変化していくことが予想されますが, 詳しい data はございません。

167. 分娩時 Catecholamine surge と Prolactin 分泌の関連について

(浜松医大)

林 賛育, 渡辺 憲生, 西口 富三